



第817号 2014年4月16日発行 日本共産党裾野支部

明るい裾野



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2
ホームページ)http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouti

岡本和枝 Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ)岡本和枝のひまわり畑 カバもいる
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

党ができて91年間、弱い者、困っている人の味方一直線の共産党。

困ったことは小沢、岡本のなんでも相談へ

①裾野市の介護保険財源不足に ②後期高齢者医療保険料も引き上げ ③裾野は土砂捨て場？またも東中奥に ④枯れ枝落下被害対策を ⑤浜岡原発を見に行きました

裾野市の介護保険 財源不足で7,000万円の借金

介護保険制度は3年ごとに保険料や介護施設の整備や介護サービスの量について定めた計画に基づいて運営します。

今年度は第5期（H24～26年度）の最終年で、第6期（H27～29年度）の計画策定を行います。

ところが、今年度の介護保険予算では、給付費（注）の増額で財源不足になり、基金から4,200万円の繰り入れをし、介護保険財政安定化基金より7,000万円の借金をすることになってしまいました。

（注：居宅介護サービス、施設サービスや介護予防給付など介護保険のサービスに必要なお金。50%が保険料、50%が公費）

裾野市の給付費増額の理由は、

- ① 第5期介護保険計画の見込みより、介護施設や介護サービスの量が増え、給付費の増額になった。
- ② デイ・サービスについては定員40人を見込んでいたが大幅に上回る定員130人の整備が行われ、利用者も増加し、

給付費が伸びた。

③ 住所地特例（市外の人が裾野市内の施設に入所した場合に、住所を移す前の市区町村が引き続き保険者となる特例措置。施設等を多く抱えている市町村の負担を少なくするための措置）の対象施設でないサービスつき高齢者専用住宅の建設も給付費の増額につながった、としています。

市民にとって介護施設が身近にできて利用できることや介護サービスが充実していくことは歓迎できますが、利用料が高額で、誰もが利用できなかったり、在宅サービスでも超過分は自己負担になってしまうマイナス面もあります。



市の介護保険財政にとっても、施設やサービスの利用料が増えることによって市の給付費が増え、高齢者のみなさんにとって、このままではその増えた市の給付費に見合う介護保険料の負担が大きくなり支払えない事態になってきます。

介護保険財政の破綻は必至です。現在の制度を維持しながらの問題解決は介護保険の財源割合の中で、公費、特に国の負担割合を大幅に高め、高齢者の保険料割合を少なくしていく必要があります。

年金は減り 消費税増税 後期高齢者医療保険料も 引き上げ



後期高齢者医療制度の財源は、医療費の患者負担分を除き、原則として公費が約 5 割、健保・国保などからの支援金が約 4 割、加入者の保険料が 1 割、で運営されています。

▲平成 26 年、27 年の保険料はアップ！

区分	平成 24・25 年度	平成 26・27 年度
所得割率	7.39%	7.57%
均等割額	37,900 円	38,500 円

保険料 = (均等割額) 38,500 円 + (所得割額) 基礎控除後の総所得金額等 × 7.57%

保険料は 2 年ごとに改定されますが、医療費の増加や 75 歳以上の人口増加に

よって保険料も上げることが出来る、とても問題の多い仕組みです。

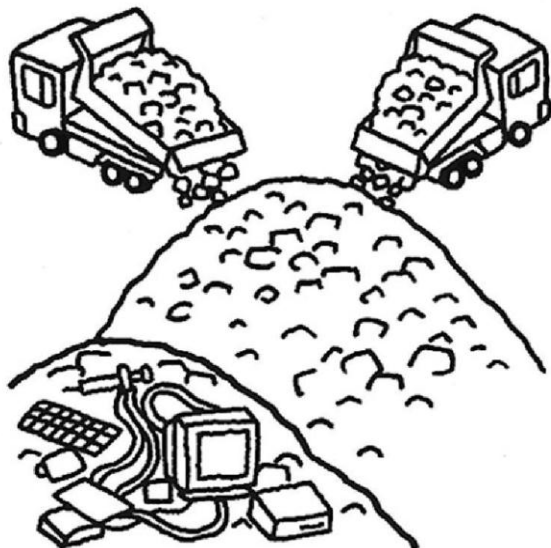
▲賦課限度額が引き上げられました。

これまでは、どんなに所得が高くて、保険料の上限は 55 万円／年（賦課限度額）でしたが、改定で 57 万円／年に引き上げられました。中／低所得者層の負担軽減を図るためとしています。

▲均等割保険料の 5 割軽減、2 割軽減の対象が拡大します。現行の軽減基準では、所得に応じて保険料の均等割が、9 割、8 割 5 分、5 割、2 割、の軽減がされます。

平成 26 年度は、少し改善されました。5 割、2 割軽減対象者が増えます。対象者の確定は 8 月頃になるとのことです。

裾野市は甘ちよらい どんどん土砂を運ぼうで？



裾野の市内に、県外ナンバー（横浜・相模）の大型ダンプが土砂をひんばんに運びこんでいます。場所は公文名で、市道 1－4 号線（通称農免道路）の裾野第一クリニックのある三角橋信号を東進、光明寺を過ぎ、東中学校北側を通過して

行った先の農業地に土砂が搬入されています。

現地をみると土砂の中にコンクリート片が混入したりしていますので建築現場の土砂が来ているのでしょうか。

小澤議員が市に、「朝 4 時 30 分頃に県外ナンバーのダンプカーが数台、光明寺方面から出て来るので土砂を運んできているのではないかと調査依頼しました。

市外から土砂搬入を担当している職員が現地を確認したところ、土砂が運びこまれていることが確認されました。

土砂が搬入されている農地は通称「青地」と言われている農地で、農地以外の利用を厳しく制限しているところです。そこに土砂を平気で搬入しているのですから問題です。裾野市は今後どう対処をしていくのか注目するところです。

裾野市は東中学校南側の斜面農地に県外からの土砂が搬入され従来の農地の形態はなく盛り土で崩落が危惧されるほど積み上げられています。市は搬入業者に「搬入の中止の命令」を出していますが、無視をされて土砂が搬入されています。そんな裾野市の実態を承知している土砂運搬業者は「裾野市の行政は甘ちよろいからどんどん土砂を運んでも問題ない」と思われているならばずいぶんなめられたものです。

枯れ枝落下で幼児が大怪我 裾野市でもありうる事故

4 月 14 日、神奈川県川崎市で商業施設内のケヤキの枝が落下して 6 歳の幼児が大怪我をした事故。木の枝が枯れて落下するのはどこでも有り得る自然界の現象であるが、それが人や物に危害を及ぼ

すことになれば自然界の現象として放置するわけにはいかない。裾野市では千福が丘住宅に通じる市道に植えられた桜の木が桜の開花時期になると桜の枝でトンネルができて見ごたえのある風景でしたが、枝が落下して車両に当たり傷つけるなど問題が発生、地元の自治会や桜の会などの関係者と協議して下り線側の桜の木を根元からすべて伐採を致しました。桜の並木を期待して今年見学に行った方々は「がっかりされた」と思います。木を切った事情を理解して頂きたいと思います。

民間の敷地内で今回のような巨木のケヤキを保有している方は道路に枝が張り出して枯れ枝が落下する危険性を心配していますが、高所の枯れ枝を切り落とすには相当の金額が掛かり常に費用を掛けることができない現状があるかと思われます。行政として裾野市の景観にそれなりの役割をしていることを考えたら枯れ枝切り落としの費用負担も考えなくてはいけないのではないかと。

十里木のクマ問題は解決したが 庭先を歩き回るキジと食害

Q. 別荘地のクマ捕獲のニュースには安心しました。クマの話をしていると、「そういえば、キジが増えてるように思う」「静岡県のキジの放鳥はどうなっているのか?」「甲高い鳴き声を聴くし近所でも姿を見かける」「ウチの裏に住んでいるよ」とかの話から、食害も話題にもなりました。キジはどうなっているのでしょうか?

市の農林振興課に聞いてみました。

A. 農林振興課は、「野生生物の適正管理として、キジの放鳥は静岡猟友会等を通じて県内各所で実施。H 21 年度の市内での放鳥はなかったが、H 22 年度には市内で放鳥実施。23 年度からは実施していない。里山での繁殖が見られることと、一方、農産物への悪さ（裾野市での報告はないが）などのため中止した。狩猟対象の鳥だが、猟友会員の減少（現在は 70 人ほど。昭和 59 年頃の半数）のため保護・繁殖のバランスが崩れてきている問題がある。シカやイノシシにも通じる問題。これが現状ですが、里山にキジのいる風景はいい」とのことでした。

深良で稲穂の先を食われているので、スズメかと思ったらキジが稲穂をついばんでいたという話。

実際は里山ではなく、家の庭先にいます。携帯で撮りました。
(深良上須で岡本かずえ撮影)



浜岡原発を見に行きました



4 月 8 日の火曜日、「放射能からふるさとと子どもを守るために浜岡原発をなくす会」が浜岡原発の調査視察を行いました。総勢 17 人が参加し、小澤良一、岡本かずえ、岩井よしえも参加しました。

地元御前崎市の「浜岡原発から住民を守る会」会長の清水澄夫さんから、原発の問題や反対運動の現状、浜岡原発に反対できない御前崎市の態度や浜岡原発反対の周辺自治体という構図の説明もありました。また、莫大なお金が地元にはばまかれている中での反対運動の苦労は並大抵のものではないと言うことがよくわかりました。



その後、浜岡海岸に出て原発を外からも見ました。莫大なお金をかけていますが、全部電気料金に上乗せです。どんなに金をかけても電力会社は負担なし。



岡本かずえの
ブログ



ブログです

岩井よしえの
ブログ

